



「池袋東口と西口をつなぐ ウォーカーブルなまちづくり」 記者会見

令和4年1月17日

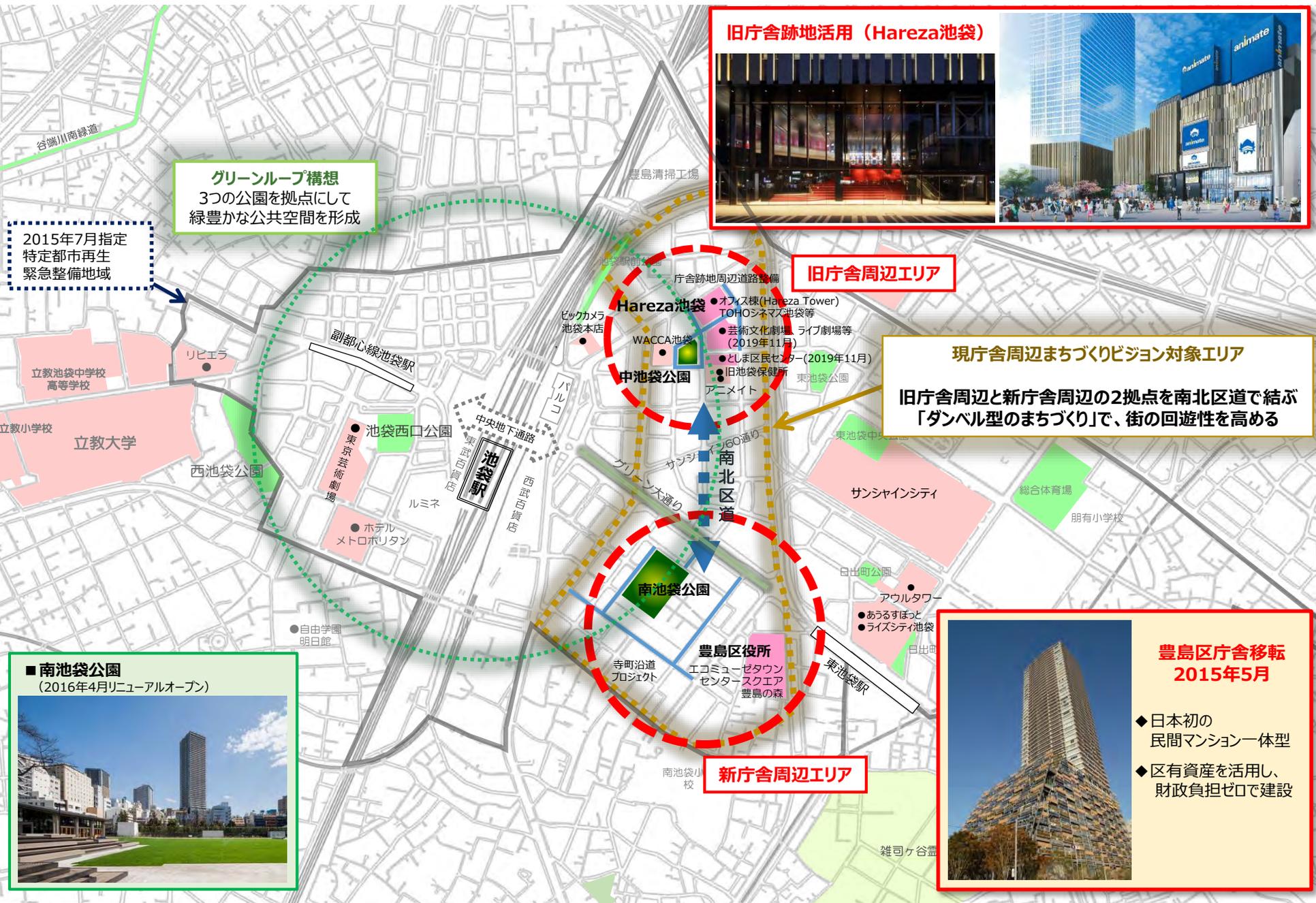
SDGs 未来都市としま



豊島区は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



Phase 1. ダンベル型のまちづくり (2014年3月 現庁舎周辺まちづくりビジョン)



グリーンループ構想
3つの公園を拠点にして
緑豊かな公共空間を形成

2015年7月指定
特定都市再生
緊急整備地域



旧庁舎周辺エリア

現庁舎周辺まちづくりビジョン対象エリア
旧庁舎周辺と新庁舎周辺の2拠点を南北区道で結ぶ
「ダンベル型のまちづくり」で、街の回遊性を高める

■南池袋公園
(2016年4月リニューアルオープン)



**豊島区庁舎移転
2015年5月**

- ◆日本初の民間マンション一体型
- ◆区有資産を活用し、財政負担ゼロで建設

Phase 2. 四つの公園を核としたまちづくり (2019年 東アジア文化都市記念23事業にて集中投資)

■ ウイロード (2019年11月)



■ ウイトピア (2022年)



■ 中池袋公園 (2019年9月)

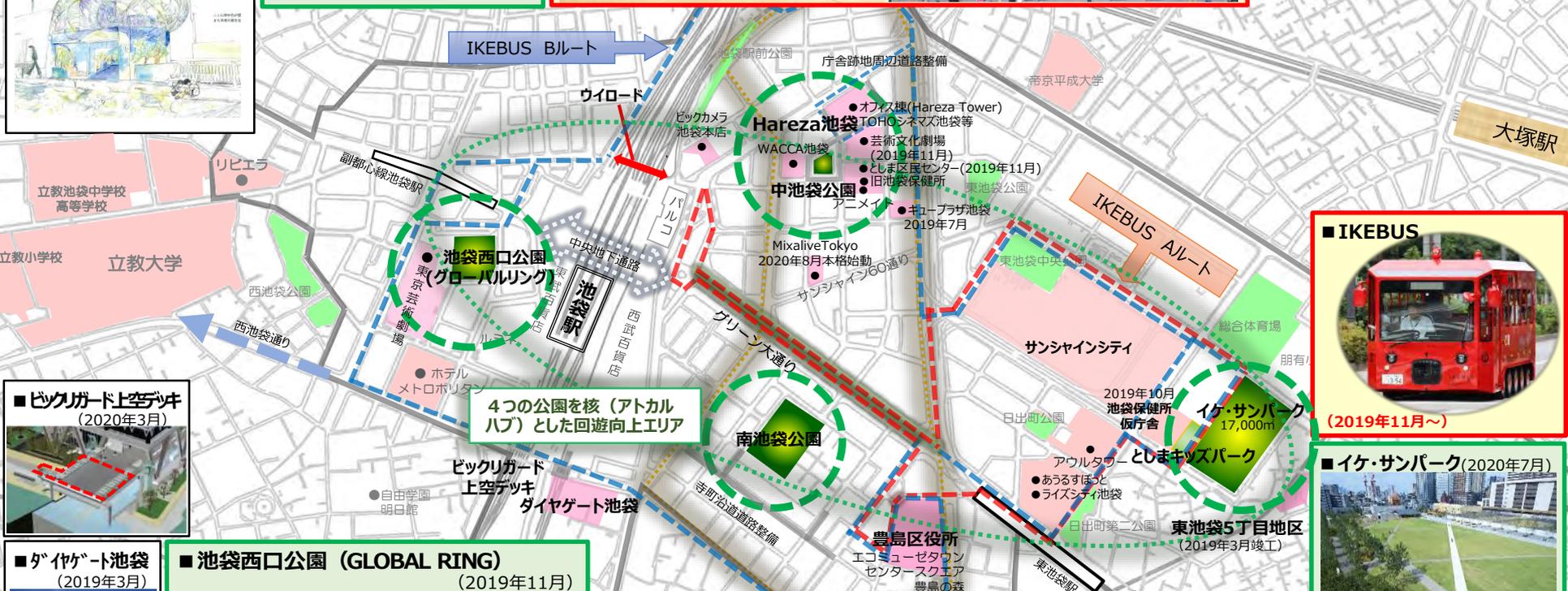


■ Hareza池袋

2020年7月グランドオープン



■ 大塚駅周辺整備(北口) (2021年3月)



4つの公園を核(アトカルハブ)とした回遊向上エリア

■ ビックガード上空デッキ (2020年3月)



■ ダイゲート池袋 (2019年3月)



■ 池袋西口公園 (GLOBAL RING) (2019年11月)



■ 南池袋公園(2016年4月)



■ グリーン大通りの再生 (2018~)



■ IKEBUS



(2019年11月~)

■ イケ・サンパーク(2020年7月)



■ としまキッズパーク(2020年9月)



Phase 3. 東西のシンボルストリートを中心としたウォーカブルなまちづくり

～ 池袋らしいまちづくり～

今後目指すべき人中心のウォーカブルなまちづくりのため、従来からのターミナル駅周辺の賑わいだけではなく4つの公園を核として自然の豊かな関係性を創出しつつそれらをむすぶ魅力的なシンボルストリートによってエリア全体の回遊性を飛躍的に向上させる。

シンボルストリートを中心とした回遊性向上エリア (西口)

■東池袋一丁目地区 ※市街地再開発事業 (2020年9月 都市計画決定)



シンボルストリートを中心とした回遊性向上エリア (東口)

2015年7月指定 特定都市再生 緊急整備地域

■立教通り整備事業 ※無電柱化、一方通行化



■池袋駅西口地区 (イメージ)



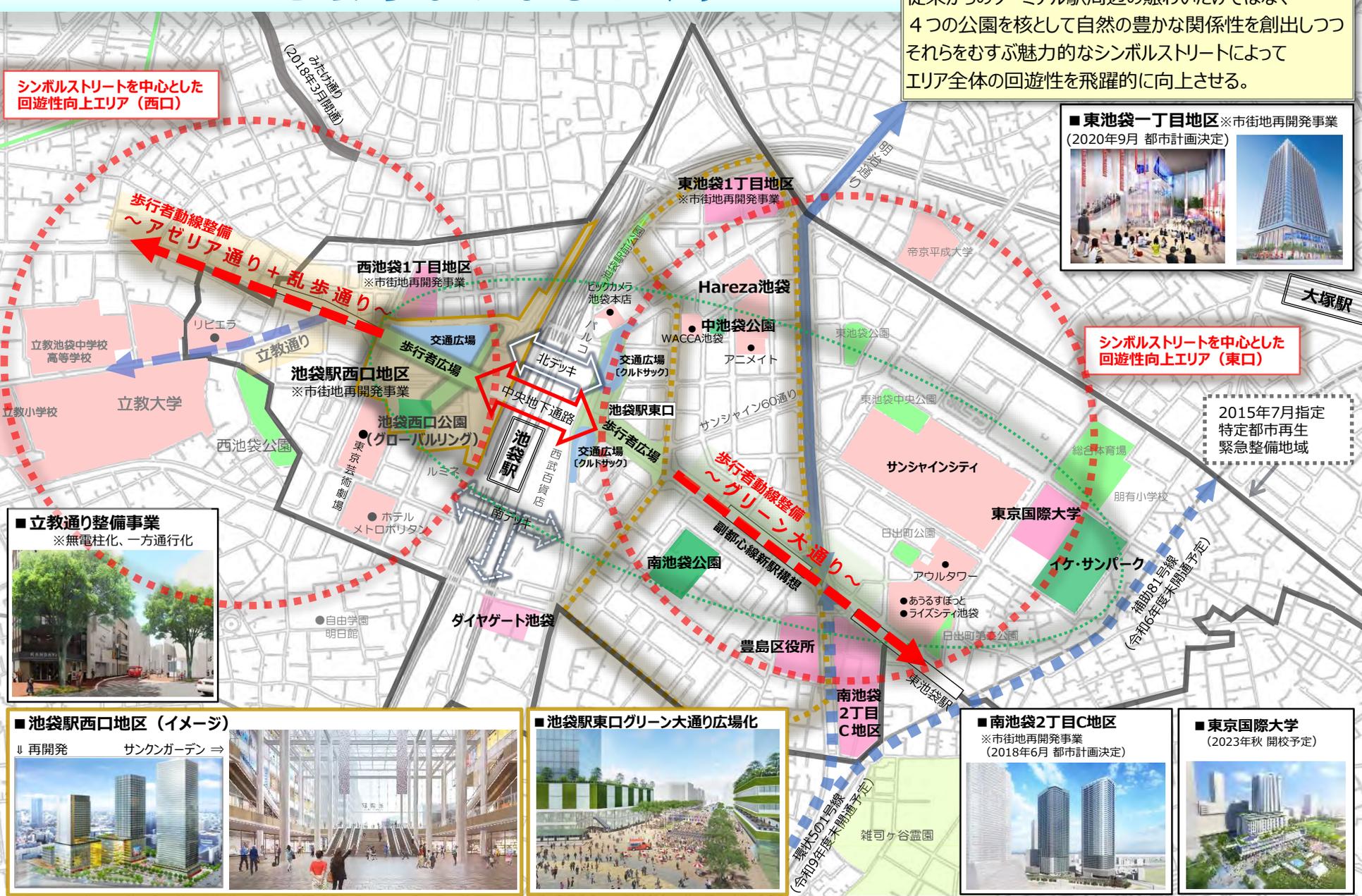
■池袋駅東口グリーン大通り広場化



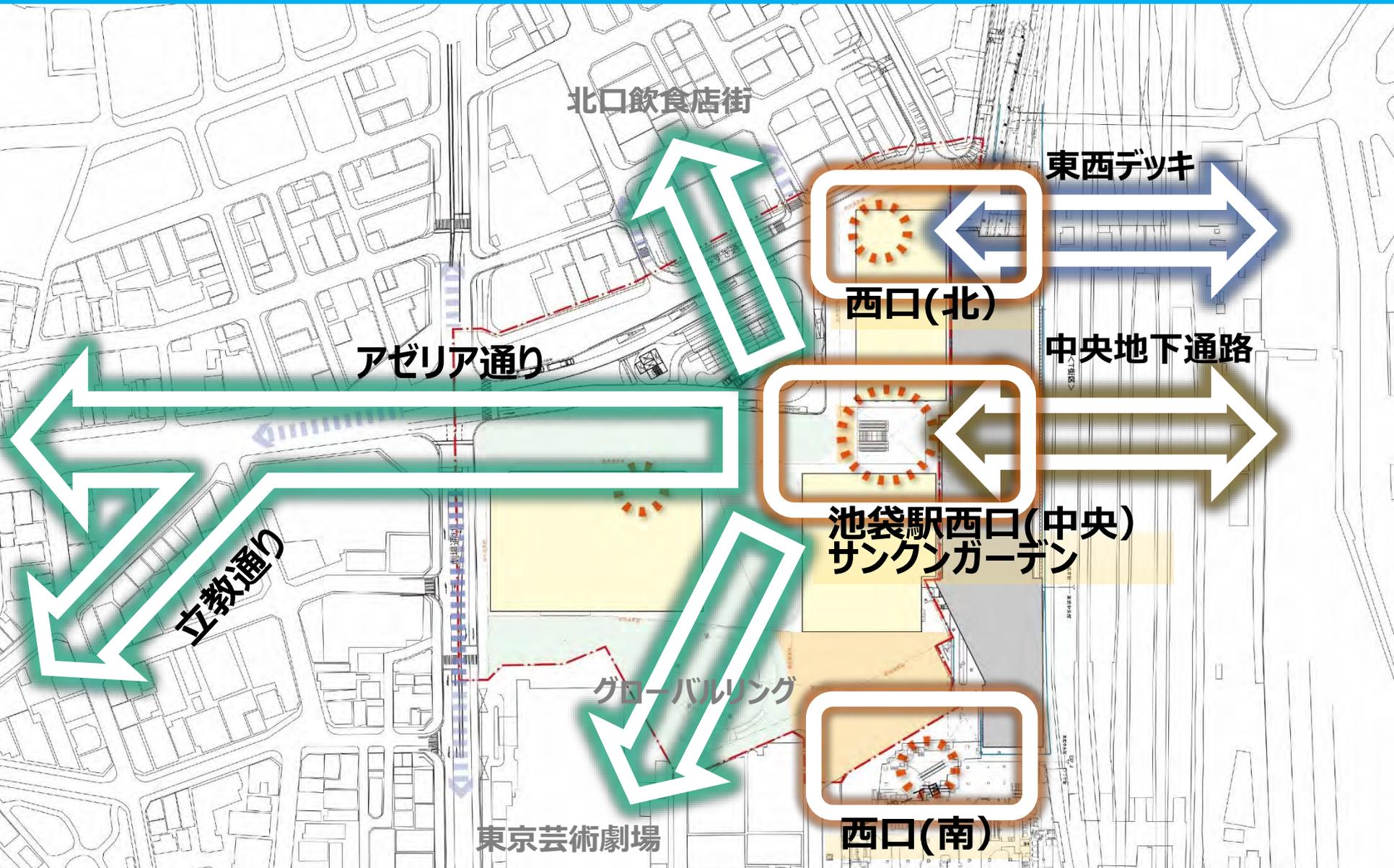
■南池袋2丁目C地区 ※市街地再開発事業 (2018年6月 都市計画決定)



■東京国際大学 (2023年秋 開校予定)



サンクンガーデン・東西デッキ・アゼリア通りから まち全体ににぎわいが広がる、ウォーカブルなまちづくり



池袋駅西口地区 サンクンガーデン (イメージ)



池袋駅西口地区再開発準備組合提供